



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月6日

上場会社名	本州化学工業株式会社	上場取引所	東
コード番号	4115	URL	http://www.honshuchemical.co.jp/
代表者 (役職名)	代表取締役社長	(氏名)	福山 裕二
問合せ先責任者 (役職名)	経理部長	(氏名)	和田 和興
四半期報告書提出予定日	2018年11月13日	配当支払開始予定日	2018年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 有		

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	9,847	5.1	1,722	7.8	1,711	10.3	1,021	21.4
2018年3月期第2四半期	9,372	17.1	1,597	113.6	1,551	114.8	841	146.6

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,318百万円(△17.1%) 2018年3月期第2四半期 1,590百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	89.01	—
2018年3月期第2四半期	73.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	28,011	20,232	63.8
2018年3月期	27,759	19,410	61.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 17,868百万円 2018年3月期 17,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
2019年3月期	—	10.00			
2019年3月期(予想)			—	18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	7.0	3,200	△0.2	3,100	△0.8	1,650	△4.3	143.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	11,500,000株	2018年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	23,104株	2018年3月期	23,104株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	11,476,896株	2018年3月期2Q	11,476,918株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性等のリスク増加や国内の相次ぐ自然災害があったものの、堅調な雇用・所得環境や設備投資の増加等により景気の緩やかな回復基調が継続しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、原材料価格の上昇が続くなど厳しい状況であったものの、引き続き情報関連財の好調、ビタミンE原料の需給バランスの改善を受け、順調に推移しました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は9,847百万円(前年同四半期比5.1%増)、営業利益は1,722百万円(同7.8%増)、経常利益は1,711百万円(同10.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,021百万円(同21.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<化学品>

・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン、スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる液晶ポリマー(LCP)の原料や医療分野等で使用されるポリフェニルスルホン(PPSU)の原料として使用されております。

当第2四半期連結累計期間においては、LCPの車載等への採用に起因する販売増がみられましたが、PPSU向けの販売減少により、売上高は前年同四半期をやや下回りました。

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第2四半期連結累計期間においては、ビタミンE原料の需要が大きく伸び、市況も大幅に上昇し、売上高は前年同四半期を大幅に上回りました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は4,409百万円(前年同四半期比21.2%増)、総売上高に占める割合は44.8%となり、セグメント利益は540百万円(同26.3%増)となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ(液晶・有機ELディスプレイ)等の製造過程で使用されております。

当第2四半期連結累計期間においては、半導体・フラットパネルディスプレイ向けとも堅調に推移し、また開発品も順調に進捗した結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂(自動車用部品、光学・電子部品用途向け)や特殊エポキシ樹脂(半導体封止材、積層板用途向け)の原料として使用されております。

当第2四半期連結累計期間においては、スマートフォン1台あたりのレンズ使用枚数増加や光学レンズ用途の裾野拡大などにより光学レンズ向け需要は堅調であった一方、一部の成形材向けに需要減が生じ、全体として売上高は前年同四半期から微減となりました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、2,133百万円(前年同四半期比10.3%増)、総売上高に占める割合は21.7%となり、セグメント利益は473百万円(同20.7%増)となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しております。

当第2四半期連結累計期間においては、為替変動の影響が少なく、売上高は前年同四半期並みとなりました。

・受託品

受託契約の一部が終了したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、工業材料セグメントの売上高は、3,080百万円(前年同四半期比14.2%減)、総売上高に占める割合は31.3%となり、セグメント利益は1,006百万円(同8.9%減)となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は223百万円(前年同四半期比5.3%増)、総売上高に占める割合は2.3%となり、セグメント利益は19百万円(同71.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、商品及び製品の増加(813百万円)、現金及び預金の増加(163百万円)、売掛金の減少(550百万円)等により、対前年度末比498百万円増加し、17,872百万円となりました。

固定資産は、機械装置及び運搬具の減少(375百万円)等により、対前年度末比247百万円減少し、10,139百万円となりました。

この結果資産合計は、対前年度末比251百万円増加し、28,011百万円となりました。

負債合計は、買掛金の減少(267百万円)、短期借入金金の減少(261百万円)等により、対前年度末比570百万円減少し、7,778百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加(814百万円)等により、対前年度末比822百万円増加し、20,232百万円となりました。

この結果、自己資本比率は63.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月15日に公表しました業績見通しの数字について、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、以下のとおり修正しております。

当第2四半期連結累計期間の営業利益が当初の予想を上回って推移し、今後も増販及び全社合理化益が見込めますことから、当社グループの2019年3月期通期の業績は、前回発表の予想よりも増益となる見通しです。

なお、業績予想の修正による期末配当予想の修正はありません。

2019年3月期通期業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,500	2,800	2,700	1,350	117.63
今回修正予想(B)	21,500	3,200	3,100	1,650	143.77
増減額(B-A)	—	400	400	300	
増減率(%)	—	14.3	14.8	22.2	
(ご参考)前期実績(2018年3月期)	20,086	3,207	3,126	1,723	150.19

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,918	8,082
売掛金	5,262	4,711
商品及び製品	2,671	3,485
仕掛品	305	334
原材料及び貯蔵品	1,087	1,135
その他	128	122
流動資産合計	17,373	17,872
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	6,794	6,419
その他（純額）	2,653	2,761
有形固定資産合計	9,447	9,181
無形固定資産	36	49
投資その他の資産	901	908
固定資産合計	10,386	10,139
資産合計	27,759	28,011
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,537	2,269
短期借入金	1,261	1,000
未払法人税等	618	417
役員賞与引当金	15	14
その他	1,143	1,310
流動負債合計	5,574	5,011
固定負債		
役員退職慰労引当金	30	—
退職給付に係る負債	1,888	1,922
その他	854	844
固定負債合計	2,774	2,766
負債合計	8,349	7,778

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	14,317	15,132
自己株式	△14	△14
株主資本合計	16,816	17,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	76
為替換算調整勘定	121	148
退職給付に係る調整累計額	21	11
その他の包括利益累計額合計	205	236
非支配株主持分	2,388	2,363
純資産合計	19,410	20,232
負債純資産合計	27,759	28,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	9,372	9,847
売上原価	6,839	7,097
売上総利益	2,532	2,749
販売費及び一般管理費	934	1,026
営業利益	1,597	1,722
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	13
為替差益	13	—
その他	2	2
営業外収益合計	19	16
営業外費用		
支払利息	22	19
事業撤退損	26	—
その他	15	7
営業外費用合計	64	27
経常利益	1,551	1,711
税金等調整前四半期純利益	1,551	1,711
法人税等	473	446
四半期純利益	1,078	1,264
非支配株主に帰属する四半期純利益	237	243
親会社株主に帰属する四半期純利益	841	1,021

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,078	1,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	14
為替換算調整勘定	460	48
退職給付に係る調整額	34	△10
その他の包括利益合計	511	53
四半期包括利益	1,590	1,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,146	1,052
非支配株主に係る四半期包括利益	444	265

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2018年6月22日開催の第89期定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、打ち切り支給額の未払分を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,637	1,933	3,588	9,159	212	9,372	—	9,372
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,637	1,933	3,588	9,159	212	9,372	—	9,372
セグメント利益	427	392	1,105	1,925	11	1,936	△338	1,597

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△338百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△338百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,409	2,133	3,080	9,623	223	9,847	—	9,847
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,409	2,133	3,080	9,623	223	9,847	—	9,847
セグメント利益	540	473	1,006	2,019	19	2,039	△316	1,722

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△316百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△316百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。